



JCA-2631 (本社工場)  
JCA-EM3548 (本社工場)

JIS K 5970 建物用床塗料 上塗り  
認証番号 JP0508057  
ホルムアルデヒド放散等級  
F☆☆☆☆

鉛・クロムフリー

厚生労働省指定13物質無配合

水系1液架橋型アクリル樹脂塗料

# 水系 **ボウジン** テックス $\alpha$



■簡単！水系1液塗料

■低臭・安全性

# 優れた乾燥性・耐汚染性、幅広い用途

## 厚生労働省指定 室内空気汚染13物質無配合

従来型ハードタイプの水系アクリル樹脂床塗料は、汚染性では改善されているものの旧塗膜の種類や施工条件(冬場の低温時など)により乾燥過程で塗膜が割れることがありました。水系ボウジンテックスアルファは乾燥初期から優れた耐汚染性を発揮し、冬季でも高光沢の塗膜を形成します。



## 特長・用途

### 特長

F☆☆☆☆

ホルムアルデヒドの発散は少ない  
建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている

- 1 環境にやさしい水系システム
- 4 アクリル樹脂では最強の塗膜を形成
- 2 水系でありながら優れた乾燥性
- 5 外部に使用できる優れた耐候性
- 3 1液架橋型で優れた耐汚染性

### 用途

- 1 溶剤を使用できない一般工場や倉庫
- 3 美装性、耐候性の必要な遊歩道や広場
- 2 軽歩行用としてのアスファルト、モルタルの床



一般工場・倉庫



電気室・ボイラー室



歩行者専用通路



遊歩道・広場・サイクル道



事務室・ロビー・教室



階段・廊下

### 塗膜乾燥初期の汚染性

水系ボウジンテックス  
アルファ



若干の摩耗は見られるが  
汚染はない

従来型ハードタイプ  
水系アクリル樹脂塗料



若干の摩耗は見られるが  
汚染はない

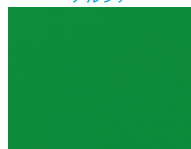
一般  
水系アクリル樹脂塗料



かなり汚染が見られる

### 低温塗装時の塗膜の状態

水系ボウジンテックス  
アルファ



異常なし

従来型ハードタイプ  
水系アクリル樹脂塗料



乾燥過程でクラック発生

一般  
水系アクリル樹脂塗料



異常なし

試験方法 塗装後2日間常温で自然乾燥させた後、タイヤ片(硬質ゴム)で塗膜をこすり、塗膜の摩耗状況、汚染状況を観察した。

試験方法 気温10℃、湿度60%の恒温室で旧塗膜(一般水系アクリル樹脂)の上に塗装し、塗膜の状態を観察した。

## 性能・荷姿

性能		
試験項目	試験方法	結果
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。 ガラス板に塗付200μm,60度	50以上
引っかかり硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷	HB
耐摩耗性 (mg)(摩耗輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17荷重500g×2,1000回転	80±5
耐水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 水道水に7日間浸せき	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 炭酸ナトリウム5%水溶液に48時間浸せき	異常なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48時間浸せき	若干白化
耐温水性	50℃温水に48時間浸せき、乾燥後	異常なし
ホルムアルデヒド 放散量	JIS K 5970 デシケータ法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆

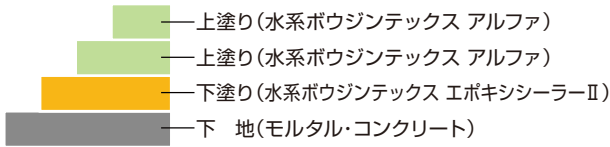
## 荷姿

■上塗り材	
水系ボウジンテックス アルファ	15kg・4kg
■下塗り材	
水系ボウジンテックス シーラー	15kg・4kg
水系ボウジンテックス エポキシシーラーⅡ	14kgセット (主剤7kg/硬化剤7kg)
	4kgセット (主剤2kg/硬化剤2kg)
■副資材	
歩行用防滑骨材	300g

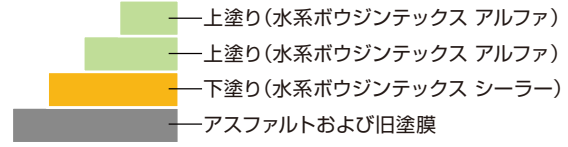
# MIZUKEI BOUJINTEX α

## 塗装工程

### モルタル・コンクリート面



### アスファルト面、旧塗膜面



## 塗装仕様

### ■モルタル・コンクリート面

工 程	使用塗料	希釈割合 清 水	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリリッシャーまたはライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目荒らしを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ゴミ・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填する。									
下 塗 り	水系ボウジンテックス エポキシシーラーII 主剤7kg 硬化剤7kg	既調合	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	88~117	60分以内	—	4h以上 48h以内	—
上 塗 り	水系ボウジンテックス アルファ 15kg	0.7~2.0kg	ハケ ローラー	2	0.15~0.2	38~50	—	2h以上	—	6h以上 完全硬化 2日以上

※塗付量には希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。  
 ※上塗り1回目に歩行用防滑骨材を混合することにより、軽歩行用防滑仕上げが可能。(添加量:300g/1缶)  
 ※注意:シーラーの吸い込みが激しい場合は、シーラーを2回塗装してください。

### ■アスファルトの場合

工 程	使用塗料	希釈割合 清 水	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新設の場合は2週間以上期間を取り、表層の油分をなくす。転圧が充分行われていることを確認する。(簡易アスファルトの場合は、塗装後、アスファルトが持ち上がるので塗装を避ける)アスファルトのくぼみに溜まった土砂を取り除くため、デッキブラシ等を併用して水洗する。(油分がある場合は洗剤を使用する)水洗後、自然乾燥する。									
下 塗 り	水系ボウジンテックス シーラー 15kg	既調合	ハケ ローラー	1	0.2~0.3	50~75	—	—	2h以上	—
上 塗 り	水系ボウジンテックス アルファ 15kg	0.7~2.0kg	ハケ ローラー	2	0.18~0.24	31~42	—	3h以上	—	8h以上 完全硬化 2日以上

※塗付量には希釈水は含まれていません。塗付量はアスファルトの状態により大きく増減します。

### ■塗り替えの場合

工 程	使用塗料	希釈割合 清 水	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶セット)	可使時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	旧塗膜上の、ゴミ、ほこり、油脂類等は除去し、清浄な素地面とする。									
下 塗 り	水系ボウジンテックス シーラー 15kg	既調合	ハケ ローラー	1	0.10~0.13	115~150	—	—	2h以上	—
上 塗 り	水系ボウジンテックス アルファ 15kg	0.7~2.0kg	ハケ ローラー	2	0.15~0.2	38~50	—	2h以上	—	6h以上 完全硬化 2日以上

※塗付量には希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。  
 ※旧塗膜がアクリルエマルションの場合は、下塗り工程は省略することができます。

## 注意事項

### 仕様全般

1. 気温10℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想されるときは、乾燥不良を起こすことがありますので施工を見合わせてください。
2. 塗装中に開放して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
3. 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
4. 排水溝には捨てないでください。
5. 静電気をきらう床には塗装しないでください。
6. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分にご注意ください。
7. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
8. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

### 塗料に関する注意

1. 水系ポウジンテックス シーラーのアスファルト面への塗面積・塗付量はアスファルト細面を基準としています。(粗面の場合は、約2倍の塗付量が必要です)
2. 水系ポウジンテックス シーラーと上塗り塗料との混合は絶対に避けてください。(混合するとゲル化します)
3. 水系ポウジンテックス エポキシシーラーⅡは、可使時間を過ぎても増粘・ゲル化は起こしませんが、付着性が低下するので、可使時間内に手際よく塗装してください。
4. 使用前には充分攪拌してください。
5. 2液硬化型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、マゼル等で充分攪拌してください。
6. 2液硬化型の塗料は、塗料ごとの可使時間内に塗装してください。
7. 2液型塗料は気温が高い場合極端に可使時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
8. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
9. 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
10. 主剤と硬化剤は別々に密栓し、冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
11. 保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
12. 材料の保管、取り扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。

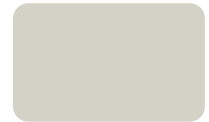
## カラーサンプル



No.25 ブルーグレー



No.24 アクアグレー



No.19 ライトグレー



No.32 グレー



No.26 サンドベージュ



No.27 モカブラウン



No.16 ライトベージュ



No.17 ベージュ



No.28 ゴールドブラウン



No.20 ブラウン



No.1 オレンジブラウン



No.6 オレンジ



No.22 ハーモニーグリーン



No.30 フィーバーグリーン



No.23 オリーブ



No.21 フレッシュグリーン



No.9 ライトグリーン



No.10 グリーン



ライト用黄色

注)この色見本は印刷によるもので現物の色とは差があります。発注の際は色見本帳または塗り板で色を確認してください。



## 水谷ペイント株式会社

本社	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大阪支店	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東京支店	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店	☎ 348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中部支店	☎ 486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広島支店	☎ 734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福岡支店	☎ 811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙台営業所	☎ 984-0042	仙台市若林区大和町1-22-36	☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871
札幌営業所	☎ 003-0006	札幌市白石区東札幌6条5-2-6	☎ (011) 824-5711 FAX (011) 824-6464
工場		本社・埼玉・中部・広島・福岡	

塗料相談室 塗料に関するご質問、お問い合わせは…



☎ 06-6391-3039

営業時間：午前 9:00～12:00 午後 1:00～3:00

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
1907050205451